

2023年度TIA連携プログラム探索推進事業かけはし調査研究募集要項

本募集要項は、東京大学で2023年度に実施する、TIA連携プログラム探索推進事業かけはし調査研究の募集に関する諸手続きを定める。

1. TIA連携プログラム探索推進事業かけはしの概要

TIAは産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、筑波大学、高エネルギー加速器研究機構、東京大学、東北大学が協力し運営するオープンイノベーション拠点である。世界でイノベーションを加速することを目的として6機関が連携し、人材、施設、知的財産などの総合的研究開発能力を結集することにより、知の創出から産業化までを一貫して支援するとともに、次世代を担う人材の育成を行っている。

TIA連携プログラム探索推進事業かけはしは、上記の中核6機関が組織の枠を越えて連携し、新領域の開拓または社会課題解決に資する調査研究や連携活動を支援する事業である。異なる専門の技術と知見を持ち寄り、公開の研究会やセミナー、展示会等により外部の人やノウハウ、研究資源や資金を活用して、大型連携研究開発や事業化へと育てていくことを目指している。これ迄、2016年度39件、2017年度50件、2018年度47件、2019年度52件、2020年度52件、2021年度51件、2022年度52件の調査研究課題が採択されている。東京大学は、これ迄かけはし事業として、ナノバイオ、藻類、IoT、計測、計算科学分野などの取り組みを実施してきた。

2. 募集対象課題

(1) TIA中核機関のうち、2機関以上の連携による課題を対象とし3機関以上の連携を推奨する。

TIA中核機関以外の研究機関、企業、団体等を連携機関に加えてもよい。

(2) 分野・領域を限定せず、新領域の開拓または社会課題解決に資する調査研究、を募集する。

3. 調査研究の実施体制

調査研究は次の関係者が中心となり、実施体制を構築する。

(1) 調査研究代表者(代表機関)

連携する全機関の調査研究活動全体を取りまとめる責任を有する、TIA中核機関の代表者。

(2) 機関代表者(連携機関)

連携機関のうち、代表機関以外の各連携機関内の調査研究実施に責任を有する、連携機関の代表者。

(3) 調査研究員

調査研究代表者及び機関代表者に協力して調査研究実施を担当する連携機関の教員、研究員、大学院生等。

4. スケジュール

課題応募受付：2023年2月1日(水)～2023年4月3日(月) 正午（メール必着）

採択通知：2023年6月1日(木)を予定

調査研究開始：採択通知後すぐ

調査研究終了：2024年3月31日

5. 調査研究費

- (1)採択された調査研究に対しては、当該予算内で調査研究を支援する予算を配分する。
- (2)配分された予算の振替方法等については、別途経理担当者宛に通知する。

6. 申請方法

下記の手順で申請書1（TIA共通様式）、申請書2を作成し、提出する。

(1)申請書のダウンロード

下記URLから申請書1、2をダウンロード

東京大学 つくば-柏-本郷イノベーションコリドー（TKHiC）推進室

<http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/corridor/index.html>

(2)申請書1の作成

調査研究代表者が作成する。他機関の方が調査研究代表者の場合は、調査研究代表者が作成した申請書1を入手する。

(3)申請書2の作成

東京大学の調査研究代表者もしくは機関代表者が作成する。ファイル名の先頭に申請者名を記載する。

(4)申請

1)各申請書の名称（調査研究代表者名、申請者名）と内容を確認。

2)作成した申請書1、2を下記メールアドレスに送信。

東京大学 つくば-柏-本郷イノベーションコリドー（TKHiC）推進室

kashiwa-corridor.kj@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※メール送信後数日以内に、申請者（東京大学の調査研究代表者もしくは機関代表者）に申請手続完了メールが送付される。申請手続完了メールを受信しなかった場合は、東京大学 つくば-柏-本郷イノベーションコリドー（TKHiC）推進室まで問い合わせること。

7. 審査方法

東京大学を含む各機関から提出された1次審査の結果を基に、TIA中核機関が共同して行う2次審査を経て、採択課題を決定する。

8. 成果の報告等

採択課題の調査研究代表者は年度終了時に成果報告書を提出する他、次年度にTIAが主催

する成果報告会での発表を依頼する場合がある。また講演やポスター発表、資料の作成等、TIAの活動への協力を依頼することがある。

9. 申請書の取扱い

申請書は審査の過程でのみ使用し、部外秘の取扱いとする。ただし、採択課題については、題目、TIA中核機関の連携機関、ならびに調査研究代表者の氏名・所属機関は公表される。また採択課題については、調査研究代表者に外部へ開示可能な説明資料の提出を求める。

10. 申請にあたっての留意事項

- (1) 前年度の採択課題であっても、原則1年までは継続課題として申請を受け付ける。
- (2) 最終的に決定された採択課題の実施にあたっては、必要に応じて連携する機関の間で、共同研究契約などを締結すること。
- (3) 調査研究代表者は、申請書1を作成する際、申請書1に秘密文書に該当する情報や将来的に特許申請に関わるような技術情報を記載しないよう注意すること。
- (4) プレベンチャー醸成支援と社会課題(SDGs)関連に関しては、申請書1に基づいて記載する。
* プレベンチャー醸成支援: 将来、ベンチャー起業に至るための支援として、ベンチャーキャピタルや地方自治体の担当者と、Web会議を利用して、起業に向けた調査研究の取り組み方や方向性に関する助言やコンサルティングの機会提供を、事務局が企画し実施するもの。
- (5) 本年度より、若手研究者エンカレッジ(若手研究者のかけはし参加促進)を目的として、若手奨励賞を設け、採択された調査研究テーマにおいて顕著な業績や貢献をもたらした若手研究者を表彰する。対象は2023年度末において45才以下の者とする。調査研究代表者に限らず、申請書1において登録された者を対象とし、調査研究代表者により各調査研究テーマから1名の申請者を決定し応募する。詳細については、2023年末頃に応募要項等を発表する。
- (6) 申請書1は、調査研究代表者が作成した同じ申請書1を連携機関代表者に送付して、各機関のTIA事務局に提出すること。(機関代表者は、調査研究代表者から申請書1を取り寄せて提出する。)
- (7) 申請書2は、各機関様式のものを用い予算申請を行う。申請額は各機関共通最大200万円。機関代表者は、連携機関の申請額情報を収集し申請書2に記載する。
- (8) 調査研究代表者だけでなく、機関代表者も申請書2通を所属機関TIA事務局に提出する。
- (9) 申請書1の連携機関には、TIA中核6機関以外の研究機関や企業等を含めても構わない。
- (10) かけはし事業の参考URL: <https://www.tia-nano.jp/page/dir000027.html>

11. 問合せ先

東京大学 つくば-柏-本郷イノベーションコリドール (TKHiC) 推進室
kashiwa-corridor.kj@gs.mail.u-tokyo.ac.jp (担当: 片山、野内)

以上